

## 平成27年度 地域包括支援センター運営部会 議事録

○日時・場所 平成27年11月10日(火)午後2時00分～ 豊明市役所会議室1

○出席者 委員：太田 満、太田博文、池田寛、田口良子(欠席：土方 治)

○傍聴者 なし

### 1. あいさつ

### 2 議題及び議事概要

#### 議題1 平成26年度地域包括支援センター実績報告及び平成27年度の運営状況について〔資料1〕

事務局より資料に沿って説明。

- ・困難ケース等地域からの声で、支援につながるケースが増えている
- ・南部／認知症初期集中支援チーム試行(藤田こころケアセンター)

#### 質疑応答

委員：認知症初期集中支援チームの取組みについての詳細は。

事務局：平成28年4月～委託に向け試行的に導入。現在2ケース対応。

対象／市内在住・未受診・認知症(疑)の対応に苦慮しているケース  
チーム員／医師、看護師、ソーシャルワーカー、介護福祉職  
事務局／南部地域包括支援センター(ケースは全市対応)

委員：包括支援センターとして重要な業務と認識する内容は。

事務局：相談支援・困難事例対応・プラン作成は重要な業務だが、ここに人と時間を取られ、重要な地域づくり・予防に力を入れられない現状。

#### 議題2 2025年に向けた地域包括支援センターの機能強化について〔資料2〕

事務局より資料に沿って説明。

#### 質疑応答

委員：藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センターの役割は。

事務局：居宅介護支援事業所と訪問看護ステーションを開所。藤田保健衛生大学の組織であり、大学職員が地域包括ケアシステム構築にも関わる。具体的には、市・UR等とともにすすめるけやきいきいきプロジェクト、まちかど保健室の運営、多職種協働人材育成研修等。

委員：現在の南北包括支援センターの場所は行きにくい。市役所内など利便性の良い場所での設置を検討して欲しい。また、啓発強化も必要。

委員：自治会などの地域組織が崩壊の危機にある一方、認知症など地域での困難ケースは増えている。地域での見守り強化をはじめ、高齢化が進む地域の体制を住民が主体的に考える時期がきている。

事務局：地域住民が主体的に動き出す地域が増えている。行政や専門職が地域の問題をすべて解決できるわけではない。地域包括支援センターの役割はこれからますます重要になる。来年度は、当部会を複数回開催しながら、機能強化について十分な検討の上で進めていく予定。